

柱 II

経済のエンジン

プロジェクト

9

マグカル

～文化芸術の魅力で人を引きつけるマグネット・カルチャーの推進～

文化芸術は人々がやすらぎや
生きる喜びを見出す上で
欠かせないものであり、
県民が身近に文化芸術に親しむ機会を
拡充することが求められています。
また、東京2020オリンピック・
パラリンピック競技大会に向け、
伝統芸能を含む文化芸術により
地域のにぎわいを創出することが
期待されています。
そこで、県民の文化芸術活動の支援や
文化芸術人材の育成を図りながら、
文化芸術の魅力で人を引きつける
マグカル(マグネット・カルチャー)の
取組みを全県で展開します。



- ▶ マグカルの全県展開
- ▶ マグカルを担う人材の育成
- ▶ 身近で文化芸術に親しむ機会の拡充

民 教

具体的な取組み

A マグカルの全県展開

- 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の文化プログラムとして、世界に向けて神奈川の文化の魅力を発信するため、市町村などと連携しながら、地域の文化資源を生かしたマグカルの全県展開を図ります。
- 神奈川発の魅力的なコンテンツを生み出すため、創造型劇場である神奈川芸術劇場(KAAT)の機能などを活用したオリジナルミュージカルの制作、文化資源や伝統芸能を活用した文化芸術の発信に取り組みます。

主な取組内容	2015	2016	2017	2018
東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会「文化プログラム」の展開 実施主体 県、市町村		全県組織立上 事業の全県展開の検討・事業実施		
神奈川発の魅力的なコンテンツの創出 実施主体 県、市町村		オリジナル作品や文化資源を生かした文化芸術の制作・上演		

B マグカルを担う人づくり

- 神奈川の舞台芸術の活性化を図るため、マグカル・パフォーミングアーツ・アカデミー[※]などにおいて、優れた芸術的才能を持つ人材の発掘・育成に取り組みます。
※歌・ダンス・演技の実践的レッスンにより舞台芸術人材を育成する講座
- 若手芸術家などの発表の機会を充実するため、青少年センターでの「マグカル劇場」の実施など、活躍の場の確保に取り組みます。

主な取組内容	2015	2016	2017	2018
舞台芸術を担う人材の育成 実施主体 県		マグカル・パフォーミングアーツ・アカデミーなどによる人材育成		
若手芸術家などのための発表機会の確保 実施主体 県、市町村、民間		青少年センターを活用した発表機会の場の確保		

C 地域における文化芸術活動に対する支援

- 県内各地の伝統芸能がその価値を認められてコミュニティの中で確実に引き継がれていくよう、発表の機会の確保や継承者の育成を支援するためのワークショップなどの事業及び民俗文化財の保存と活用に取り組みます。
- 子ども・青少年の豊かな心や感性などを育むため、特色ある効果的な事業を市町村へ紹介するとともに、県立施設における子ども・青少年を対象とした鑑賞機会の充実などを図ります。

主な取組内容	2015	2016	2017	2018
伝統芸能の発表機会の確保や継承者の育成支援、民俗文化財の保存と活用 実施主体 県、市町村		発表の機会の確保と民俗文化財の保存と活用		
次代を担う子ども・青少年の文化芸術活動の充実 実施主体 県、市町村		子どもの芸術鑑賞機会と文化芸術活動体験機会の拡充		